

## I 第28週の発生動向 (2015/7/6~7/12)

1. 伝染性紅斑については、上十三保健所管内で第21週から**警報**が継続しています。
2. 手足口病については、弘前保健所管内で**警報**が発令されました。また上十三保健所管内で第27週から**警報**が継続しています。
3. 感染性胃腸炎については、患者報告数が153人から127人に減少しました。
4. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎については、62人から75人に増加しました。
5. インフルエンザの患者報告数は4人で、迅速診断キットによる型別はすべてA型でした。

## II 第28週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、**警報・注意報**については青森県感染症発生動向調査 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東青 (東地方保健所・青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (八戸保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		
小児科 内科																
インフルエンザ	4	0.31											4	0.06	4	
小児科	RSウイルス感染症					4	0.40			1	0.17		5	0.12	-2	
	咽頭結膜熱	3	0.38	4	0.44	4	0.40	2	0.40	1	0.17	3	0.75	17	0.40	7
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	10	1.25	21	2.33	39	3.90			4	0.67	1	0.25	75	1.79	13
	感染性胃腸炎	33	4.13	15	1.67	37	3.70	8	1.60	20	3.33	14	3.50	127	3.02	-26
	水痘	4	0.50	1	0.11	5	0.50			2	0.33			12	0.29	-3
	手足口病	23	2.88	46	5.11	47	4.70			43	7.17	1	0.25	160	3.81	14
	伝染性紅斑	1	0.13	6	0.67	6	0.60	2	0.40	13	2.17	1	0.25	29	0.69	-2
	突発性発しん	1	0.13	5	0.56	6	0.60							12	0.29	-8
	百日咳															0
	ヘルパンギーナ	2	0.25	5	0.56									7	0.17	5
流行性耳下腺炎			1	0.11	1	0.10							2	0.05	1	
眼科																
急性出血性結膜炎															0	
流行性角結膜炎	2	1.00											2	0.18	-2	
基幹																
クラミジア肺炎															0	
細菌性髄膜炎															0	
マイコプラズマ肺炎											1	1.00	1	0.17	-3	
無菌性髄膜炎															0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0	

■は警報、■は注意報。「空欄」:患者発生無し。

## III 全数把握疾患(掲載数は最新情報)

- ・結核(二類全数把握疾患):青森市+東地方1人(2015年計:164人)
- ・腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患):青森市+東地方7人、弘前1人、八戸1人(2015年計:33人)

## IV 病原体検出情報 ※( )内は、検査材料及び検体採取日、検出数です。

- ・下気道炎患者(鼻汁、6/10)・・・ヒトメタニューモウイルス:八戸(1)
- ・手足口病患者(咽頭ぬぐい液、6/1~6/15)・・・コクサッキーウイルスA16型及びHHV7:八戸(1)、コクサッキーウイルスA16型:弘前(1)

# 感染症の窓

## デング熱 (四類全数把握疾患)

デング熱は、蚊が媒介するデングウイルスによる急性の熱性感染症です。ウイルスに感染した患者を蚊が吸血すると、蚊の体内でウイルスが増殖し、その蚊が他者を吸血することでウイルスが感染します。

突然の高熱で発症し、頭痛、眼窩痛、顔面紅潮、結膜充血を伴い、発熱は2日~7日間持続します。初期症状に続き、全身の筋肉痛、骨関節痛、全身倦怠感を呈します。発症後3日~4日目に、胸部、体幹から始まる発疹が出現し、四肢、顔面に広がります。これらの症状は1週間程度で回復します。

なお、ごくまれに出血やショック症状を伴う重症型のデング出血熱もあります。

熱帯や亜熱帯の全域で流行しており、近年、海外の流行地で感染し帰国した症例が毎年200名前後報告されていますが、2014年8月、約70年ぶりに国内感染が発生しました。同年10月末までに主に東京都内の公園に関連する患者160人が報告され、代々木公園を訪れた青森県の患者1人もこの中に含まれています。

主たる媒介蚊はネッタイシマカ(日本には常在せず)ですが、日本のほとんどの地域(秋田県及び岩手県以南)で見られるヒトスジシマカ(右図)も媒介できます。国内外で蚊に刺されないために、長袖・長ズボンの着用に留意してください。また忌避剤の使用も推奨されています。

【参考】厚生労働省 HP



図:ヒトスジシマカの成虫(出典:国立感染症研究所 デング熱・チクングニア熱等蚊媒感染症の対応・対策の手引き 地方公共団体向け)

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2015年第18週～2015年第28週）

週	期間	東青 (東地方保健所・青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
18	H27.4.27 ~ H27.5.3		つつが虫病1人				
19	H27.5.4 ~ H27.5.10			侵袭性肺炎球菌感染症1人			
20	H27.5.11 ~ H27.5.17			侵袭性肺炎球菌感染症1人 後天性免疫不全症候群1人			
21	H27.5.18 ~ H27.5.24	つつが虫病1人 梅毒1人		クロイツフェルト・ヤコブ病1人			
22	H27.5.25 ~ H27.5.31		侵袭性インフルエンザ菌感染症1人	急性脳炎1人		つつが虫病1人 梅毒1人	
23	H27.6.1 ~ H27.6.7	つつが虫病1人 ウイルス性肝炎1人 侵袭性肺炎球菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人			つつが虫病1人	
24	H27.6.8 ~ H27.6.14	つつが虫病2人 カルバペネム耐性腸内細菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症3人 侵袭性肺炎球菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人			つつが虫病1人
25	H27.6.15 ~ H27.6.21		腸管出血性大腸菌感染症3人	侵袭性肺炎球菌感染症1人			細菌性赤痢1人
26	H27.6.22 ~ H27.6.28	腸管出血性大腸菌感染症1人				侵袭性肺炎球菌感染症1人	
27	H27.6.29 ~ H27.7.5	腸管出血性大腸菌感染症12人		腸管出血性大腸菌感染症1人 侵袭性肺炎球菌感染症1人			カルバペネム耐性腸内細菌感染症1人
28	H27.7.6 ~ H27.7.12	腸管出血性大腸菌感染症7人	腸管出血性大腸菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人			

VI 結核(二類全数把握疾患) (2015年第18週～2015年第28週)

単位：人

週	期間	東青 (東地方保健所・青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
18	H27.4.27 ~ H27.5.3		2	2			
19	H27.5.4 ~ H27.5.10		1	1		1	
20	H27.5.11 ~ H27.5.17	4		1		1	2
21	H27.5.18 ~ H27.5.24	1	1	1		3	
22	H27.5.25 ~ H27.5.31		1	3	1		1
23	H27.6.1 ~ H27.6.7	2	1	4		1	
24	H27.6.8 ~ H27.6.14	3	1	1			
25	H27.6.15 ~ H27.6.21	2		1			
26	H27.6.22 ~ H27.6.28	2		3		2	
27	H27.6.29 ~ H27.7.5	2	2	2			1
28	H27.7.6 ~ H27.7.12	1					

VII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国

(2015年第1週～第26週累計)

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	コングジオリテス症	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	マリア	野兔病	ライム病	レジオネラ症
累積報告数	11590	3	69	866	20	22	94	143	8	4	1	28	10	67	112	60	3	16	1	3	594
分類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	副症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵袭性インフルエンザ菌感染症	侵袭性髄膜炎	侵袭性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	パルボウイルス耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	6	526	119	620	264	8	86	237	679	36	124	18	1361	147	1073	60	48	26	96	24	15

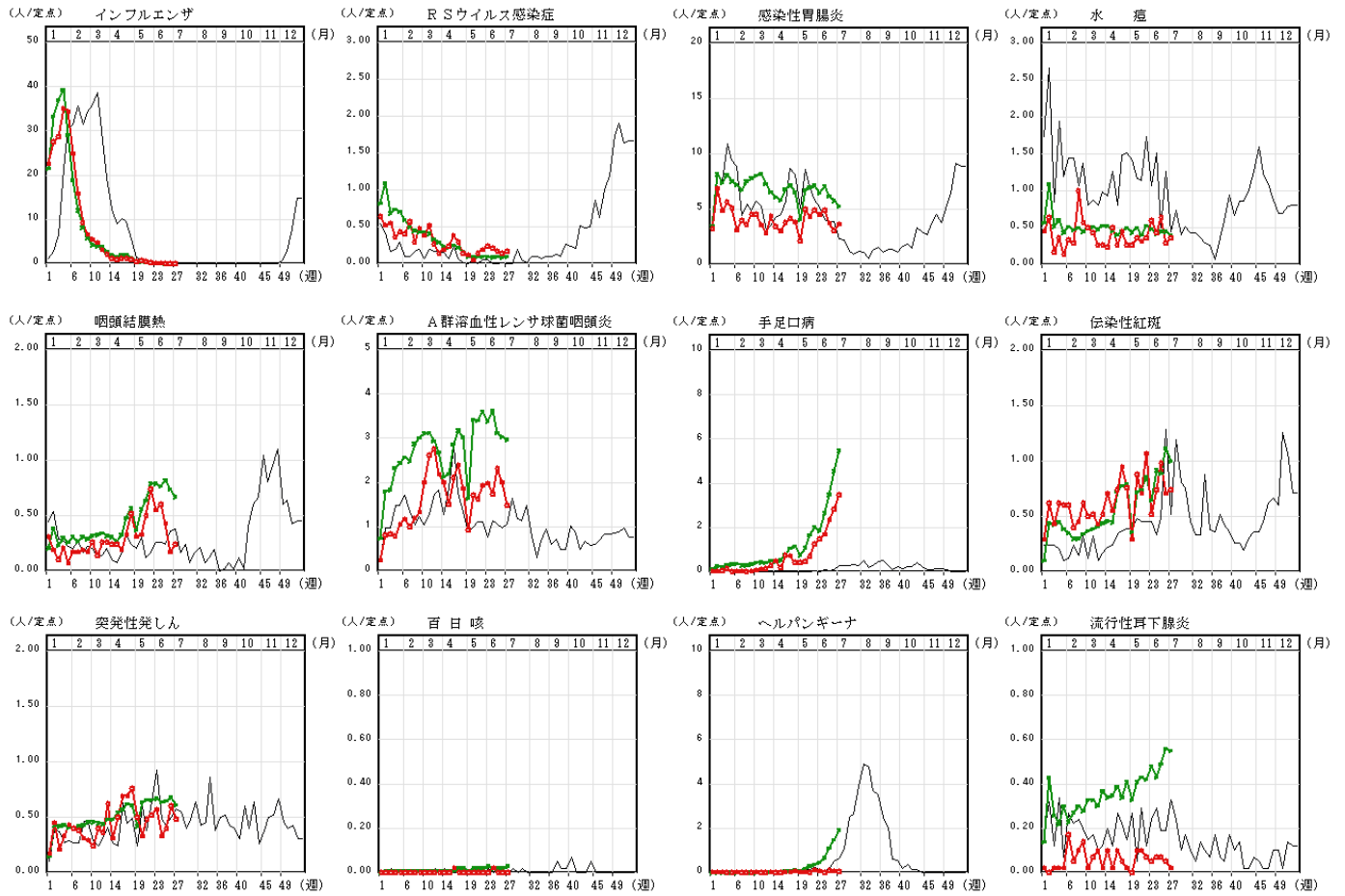
青森県

(2015年第1週～第28週累計)

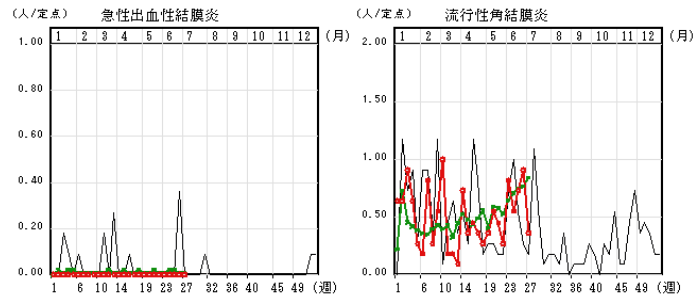
分類	二類	三類	三類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	細菌性赤痢	つつが虫病	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	後天性免疫不全症候群	侵袭性インフルエンザ菌感染症	侵袭性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒		
累積報告数	164	33	1	8	5	1	8	1	1	2	2	12	2	3		

## VIII インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2015年第27週)

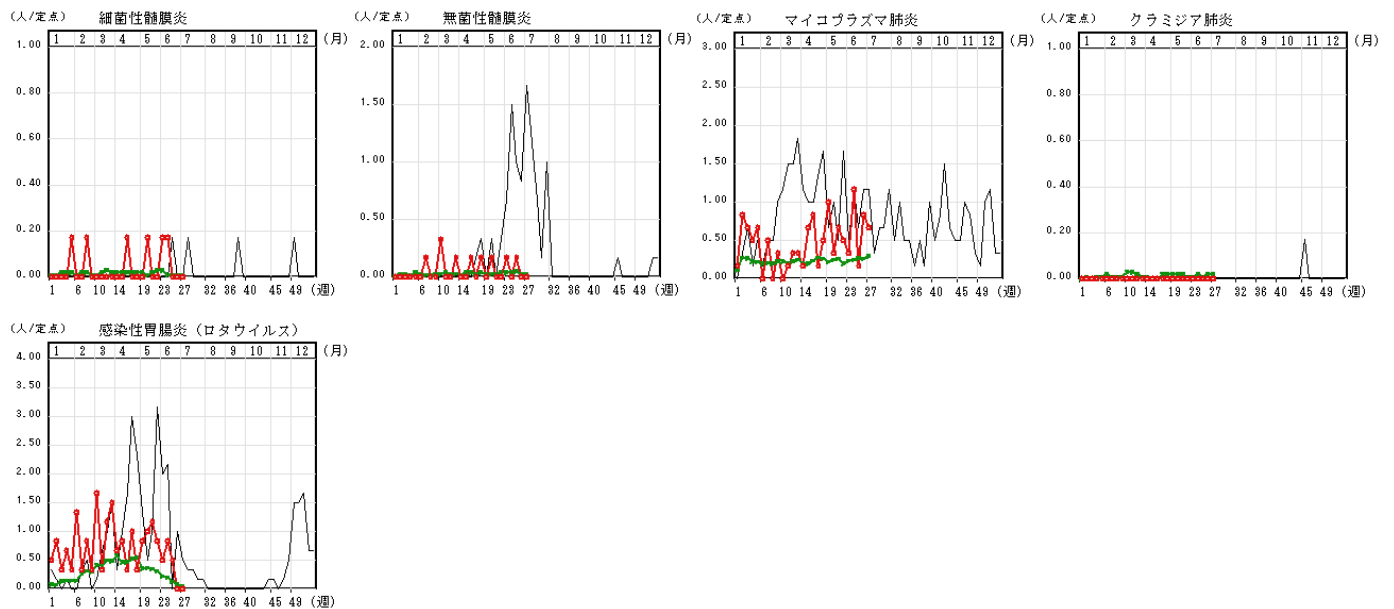
グラフの説明 ○—○は2015年青森県、——は2014年青森県、×—×は2015年全国



## IX 眼科定点把握疾患週別推移 (2015年第27週)



## X 基幹定点把握疾患週別推移 (2015年第27週)



## XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成17年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

### 平成27年第28週

報告週 (第1報)	施設種別	発症者数	管轄保健所
第28週	児童・婦人関係施設等	28	弘前保健所

### 平成27年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月		計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-13週	14-17週	18-22週	23-26週	27週	28週	
介護・老人福祉関係施設	件数	7	5	1	0	2	0	0	0	15
	発症者数	107	94	47	0	27	0	0	0	275
児童・婦人関係施設等	件数	3	0	1	1	0	1	0	1	7
	発症者数	61	0	5	19	0	14	0	28	127
障害関係施設	件数	0	0	1	0	0	1	0	0	2
	発症者数	0	0	10	0	0	16	0	0	26
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	10	5	3	1	2	2	0	1	24
	発症者数	168	94	62	19	27	30	0	28	428